

令和7年度

小・中学校における  
租税教育実践報告

仙台南地区租税教育推進協議会



## 発刊にあたって

仙台南地区租税教育推進協議会長  
岩沼市教育委員会  
教育長 及川浩市



平素より、仙台南地区における租税教育の推進にご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

この度、令和7年度の実践をまとめた報告書を刊行する運びとなりました。関係各位のご高配に感謝申し上げますとともに、租税教育にご尽力いただいた学校および教職員の皆様に、心から敬意を表します。

さて、今年度は、教育と税に関わる話題が多く報じられた一年でした。文教・科学振興費が前年度より増額され、教員配置の改善や教職調整額の引上げなど、教育現場を支えるための予算措置が進んでいます。また、高校等の就学支援金や給付型奨学金の対象拡大、さらには給食無償化をめぐる自治体の動きなど、子どもたちの学びや生活が税によって支えられていることを実感する機会が多くありました。

そのような中、協議会が主催した「児童・生徒の租税教育に関する座談会」および「研究発表会」では、多くの示唆に富む実践が共有され、貴重な成果を収めることができました。

座談会では、社会科の枠を超え、生活や地域とのつながりの中で税の役割を学ばせる取組が紹介され、11月の研究発表会の発表者にとって大いに参考となる内容でした。

研究発表会では、那智が丘小学校、亘理小学校、岩沼中学校、山元中学校の各校から、税の歴史を切り口に指導した実践、児童生徒が主体的に税について調べ学ぶ取組、さらには税の公平性を考える学習など、主権者としての資質を育む多様な実践が報告されました。学習を通じて「税金がなければ生活が成り立たない」「将来しっかり納税したい」といった意識の変化が見られたことは、大きな成果であると考えます。

これらの実践から、子どもたちが、メディアで見聞きする増税・減税の話題を自分の生活や将来と結びつけて考える姿が育ちつつあることがうかがえます。今後も、発達段階に応じて早期から継続的に租税教育を行い、社会科や総合的な学習の時間等と関連付けながら計画的に指導を進めることが重要であると考えます。加えて、家庭においても税について気軽に話題にできる学習環境を広げていくことが、将来の納税者意識や社会の一員としての責任感を育むうえで大切であろうと思っております。

結びに、本報告書の作成にあたりご協力いただいた仙台南税務署の皆様、ならびに実践をご提供いただいた先生方に、深く感謝申し上げます。今後とも、租税教育の一層の充実と発展を心より祈念いたします。

令和8年3月



# 目 次

1	仙台南地区租税教育推進協議会のあゆみ	1
2	令和7年度 仙台南地区租税教育推進協議会の主な活動状況	3
3	令和7年度 児童・生徒の租税教育に関する座談会及び 研究発表会の様子	5
4	令和7年度 租税教育研究発表要項（順不同・敬称略）	11
	(1) 税の歴史を柱として国や社会の在り方について考える 名取市立那智が丘小学校 教諭 松崎 孝太郎	13
	(2) 中学校社会科歴史的分野における租税教育の指導の工夫 岩沼市立岩沼中学校 教諭 小室 那由他	21
	(3) 税の意義や役割に対する興味・関心を高め、 自分たちの生活との関わりを考えようとする児童の育成 ～税について課題をもち、 主体的に調べたり学んだりする活動を展開する学習～ 亘理町立亘理小学校 教諭 笠松 義幸	31
	(4) 納税者として税への関心を高め、 主体的に社会に参画しようとする生徒の育成 ～租税に関する社会科の学習を通して～ 山元町立山元中学校 主幹教諭 晴佐 久 晶	39
(参考資料)	租税教育実践発表一覧（昭和62年度～令和7年度）	45
	令和7年度 仙台南地区租税教育推進協議会 役員名簿	53



## 1 仙台南地区租税教育推進協議会のあゆみ

### (1) 設 立

当協議会は、昭和62年3月25日の設立準備委員会を経て、(2)の構成機関をもって、昭和62年5月25日に設立された。

当協議会は、仙台南地区の税務及び教育関係者が協力して、児童・生徒並びに社会人に対する租税教育を推進し、納税道義の高揚に必要な事項について協議し、また、連絡協調を図ることを目的としている。

### (2) 構成機関

構 成 機 関 名	
教 育 関 係 機 関	税 務 関 係 機 関
宮城県教育庁仙台教育事務所 名取市教育委員会 岩沼市教育委員会 亘理町教育委員会 山元町教育委員会 各地区校長会	仙台南税務関係団体協議会 宮城県仙台南県税事務所 名取市役所 岩沼市役所 亘理町役場 山元町役場 仙台南税務署

### (3) 事業内容

- イ 租税教育の計画策定
- ロ 児童・生徒の租税教育に関する座談会及び研究発表会の開催
- ハ 租税教室の開催
- ニ 税に関する作品募集の支援
- ホ 小・中学校における租税教育実践報告の作成
- ヘ 租税教育用教材の提供
- ト 税を考える週間行事への協力

(4) 歴代会長

初代	昭和62年5月25日	～	平成元年6月13日	岩沼市教育委員会	教育長	遠藤	幸四郎
2代	平成元年6月13日	～	平成5年6月1日	名取市教育委員会	教育長	佐々木	健
3代	平成5年6月1日	～	平成8年10月15日	山元町教育委員会	教育長	菅野	丈治
4代	平成8年10月15日	～	平成13年6月8日	亶理町教育委員会	教育長	三品	堯明
5代	平成13年6月8日	～	平成14年12月31日	岩沼市教育委員会	教育長	砂金	勲
6代	平成15年1月1日	～	平成15年6月10日	岩沼市教育委員会	教育長	影山	一郎
7代	平成15年6月10日	～	平成16年9月30日	名取市教育委員会	教育長	太田	洋一
8代	平成16年10月1日	～	平成17年6月2日	名取市教育委員会	教育長	阿部	哲男
9代	平成17年6月2日	～	平成19年3月31日	山元町教育委員会	教育長	佐々木	陽一郎
10代	平成19年5月10日	～	平成19年6月1日	山元町教育委員会	教育長	横山	俊二
11代	平成19年6月1日	～	平成21年6月1日	亶理町教育委員会	教育長	鈴木	光範
12代	平成21年6月1日	～	平成23年6月24日	岩沼市教育委員会	教育長	影山	一郎
13代	平成23年6月24日	～	平成25年6月20日	名取市教育委員会	教育長	丸山	春夫
14代	平成25年6月20日	～	平成27年6月26日	山元町教育委員会	教育長	森	憲一
15代	平成27年6月26日	～	平成29年6月28日	亶理町教育委員会	教育長	岩城	敏夫
16代	平成29年6月28日	～	令和元年7月2日	岩沼市教育委員会	教育長	百井	崇
17代	令和元年7月2日	～	令和3年7月16日	名取市教育委員会	教育長	瀧澤	信雄
18代	令和3年7月16日	～	令和5年6月23日	山元町教育委員会	教育長	菊池	卓郎
19代	令和5年6月23日	～	令和7年6月27日	亶理町教育委員会	教育長	奥野	光正
20代	令和7年6月27日	～		岩沼市教育委員会	教育長	及川	浩市

## 2 令和7年度 仙台南地区租税教育推進協議会の主な活動状況

### (1) 児童・生徒の租税教育に関する座談会

(内容)

本年度の「児童・生徒の租税教育に関する研究発表会」に向け、児童・生徒の租税教育に直接携わっている関係者による意見交換を行った。

年月日	令和7年8月20日(水)
場 所	岩沼市民会館
出席者	仙台南地区租税教育推進協議会役員 教育関係者、関係民間団体、税務関係官庁 令和6年度研究発表校、令和7年度研究発表校、令和8年度研究発表予定校

### (2) 児童・生徒の租税教育に関する研究発表会

(内容)

研究発表指定校の教諭が租税教育に関する研究結果を発表した。

年月日	令和7年11月13日(木)												
場 所	岩沼市民会館												
発表者	<table> <tr> <td>名取市立那智が丘小学校</td> <td>教 諭</td> <td>松崎 孝太郎</td> </tr> <tr> <td>岩沼市立岩 沼 中 学 校</td> <td>教 諭</td> <td>小室 那由他</td> </tr> <tr> <td>亘理町立亘 理 小 学 校</td> <td>教 諭</td> <td>笠松 義幸</td> </tr> <tr> <td>山元町立山 元 中 学 校</td> <td>主幹教諭</td> <td>晴佐久 晶</td> </tr> </table>	名取市立那智が丘小学校	教 諭	松崎 孝太郎	岩沼市立岩 沼 中 学 校	教 諭	小室 那由他	亘理町立亘 理 小 学 校	教 諭	笠松 義幸	山元町立山 元 中 学 校	主幹教諭	晴佐久 晶
名取市立那智が丘小学校	教 諭	松崎 孝太郎											
岩沼市立岩 沼 中 学 校	教 諭	小室 那由他											
亘理町立亘 理 小 学 校	教 諭	笠松 義幸											
山元町立山 元 中 学 校	主幹教諭	晴佐久 晶											



### 3 令和7年度 児童・生徒の租税教育に関する座談会及び研究発表会の様子

#### 児童・生徒の租税教育に関する座談会

開催日：令和7年8月20日(水)  
開催場所：岩沼市民会館



会長挨拶：岩沼市教育委員会  
教育長 及川 浩市



顧問挨拶：仙台南税務署  
署長 西崎 由美子



第一分科会



第二分科会



第三分科会



副会長挨拶：公益社団法人仙台南法人会  
会長 大友 浩幸



## 児童・生徒の租税教育に関する研究発表会

開催日：令和7年11月13日(木)  
開催場所：岩沼市民会館



会長挨拶：岩沼市教育委員会  
教育長 及川 浩市



祝辞：岩沼市長  
佐藤 淳一



発表：名取市立那智が丘小学校  
教諭 松崎 孝太郎



発表：名取市立那智が丘小学校  
教諭 松崎 孝太郎



発表：岩沼市立岩沼中学校  
教諭 小室 那由他



発表：岩沼市立岩沼中学校  
教諭 小室 那由他



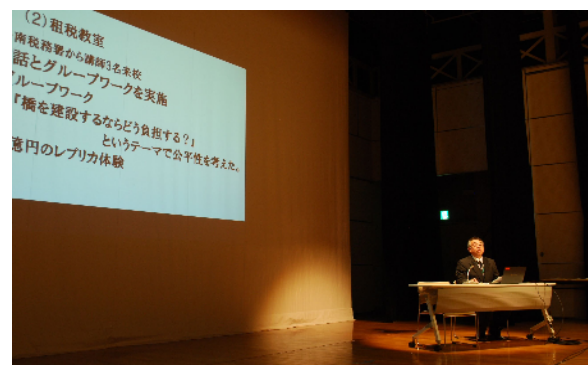
発表：亘理町立亘理小学校  
教諭 笠松 義幸



発表：亘理町立亘理小学校  
教諭 笠松 義幸



発表：山元町立山元中学校  
主幹教諭 晴佐久 晶



発表：山元町立山元中学校  
主幹教諭 晴佐久 晶



講評：宮城県仙台教育事務所  
副参事 石川 寛之



感謝状贈呈

(左から笠松義幸教諭、松崎孝太郎教諭、及川浩市岩沼市教育長、  
小室那由他教諭、晴佐久晶主幹教諭)



記念品贈呈：仙台南間税会

(左から笠松義幸教諭、松崎孝太郎教諭、遠藤利昭仙台南間税会長、  
小室那由他教諭、晴佐久晶主幹教諭)



4 令和7年度 租税教育研究発表要項（順不同・敬称略）

令和7年度 租税教育に関する研究発表者

開催日 令和7年11月13日(木)  
開催場所 岩沼市民会館



名取市立那智が丘小学校

教諭 松崎 孝太郎

税の歴史を柱として  
国や社会の在り方について考える



岩沼市立岩沼中学校

教諭 小室 那由他

中学校社会科歴史的分野における  
租税教育の指導の工夫



亙理町立亙理小学校

教諭 笠松 義幸

税の意義や役割に対する興味・関心を高め、  
自分たちの生活との関わりを  
考えようとする児童の育成  
～税について課題をもち、主体的に調べたり  
学んだりする活動を展開する学習～



山元町立山元中学校

主幹教諭 晴佐久 晶

納税者として税への関心を高め、  
主体的に社会に参画しようとする生徒の育成  
～租税に関する社会科の学習を通して～





## 租税教育のねらい

次世代を担う児童・生徒が社会や国を支える税の意義や役割を深く理解し、**税を通じて国や社会の在り方について考える。**

「児童・生徒の租税教育に関する座談会」の開催についてより抜粋

## 実践のねらいについて



税を通じて国や社会の在り方について考える。



なぜ今はお金で税金を納めているのに、昔は米や布や特産品だったのだろうね。

## 税を通じて国や社会の在り方について考える。

租税教育

約 50 種類	消費税	○ 家 ぐ じ
消費税	関税	い け 課 税
国税、所得税 etc.		
アメリカ	711 = ヒロ!	
	5011	
税金 X → 月 199 81000 円!		
学校	→ 20 億	税金は、
保健	→ 5 億	すべての国民が
公園	→ 1 億 (40 25%)	健康で豊かな
バス	→ 1000 円	生活を
税金	→ 10000 円	おくれるように
バス	→ 3000	するために
バス	→ 5 万	みんなが出し合
バス	→ 11 万 5 千 円	合費である。
バス	→ 10 億	
1 億の 車		

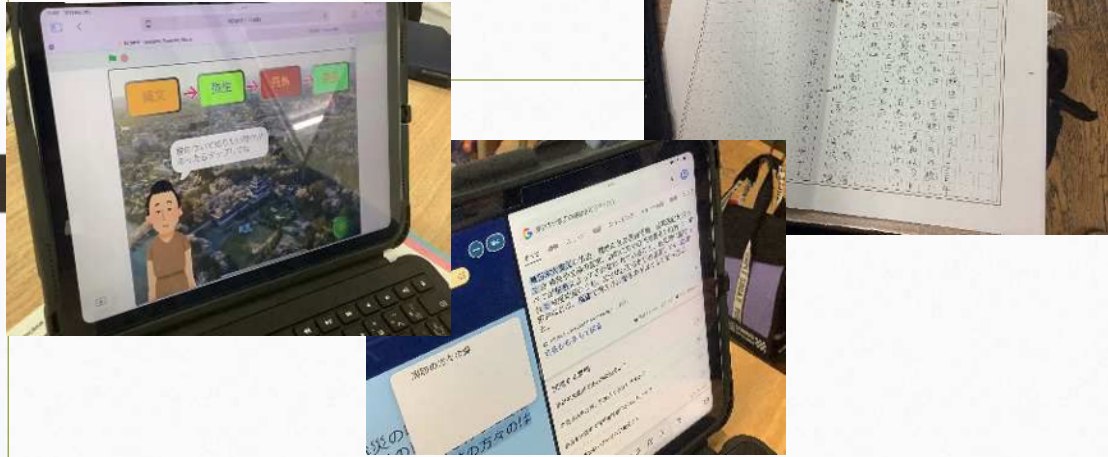
初年号... 大化	租
豪族の土地や人とは	3% を
国のもの	納め
豪族	
貴族になり、政治参加	5 月
藤原京... 飛鳥(奈良県)	特産物
法律... 律令	5 月 3 日
租、調、庸	
	年間に 10 日
	郡で働く
	かわりに
	布を納める

## まとめの方法

- 児童は1～2月にまとめを行います。まとめる方法は各自が選択します。
  - ①scratch (プログラミング) <https://www.youtube.com/watch?v=qJ1wZr9SyJY>
  - ②ロイロノートやキーノート(パワーポイントのようなプレゼンテーションアプリ)
  - ③画用紙または模造紙
  - ④作文や文章
- 自分の理解度や実態に合わせて自己決定していく。



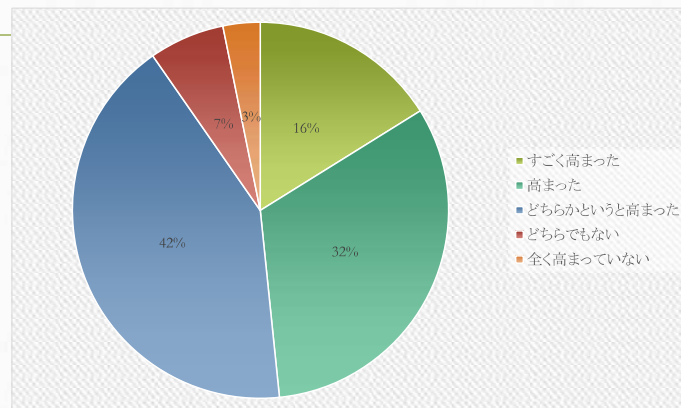
## 具体例



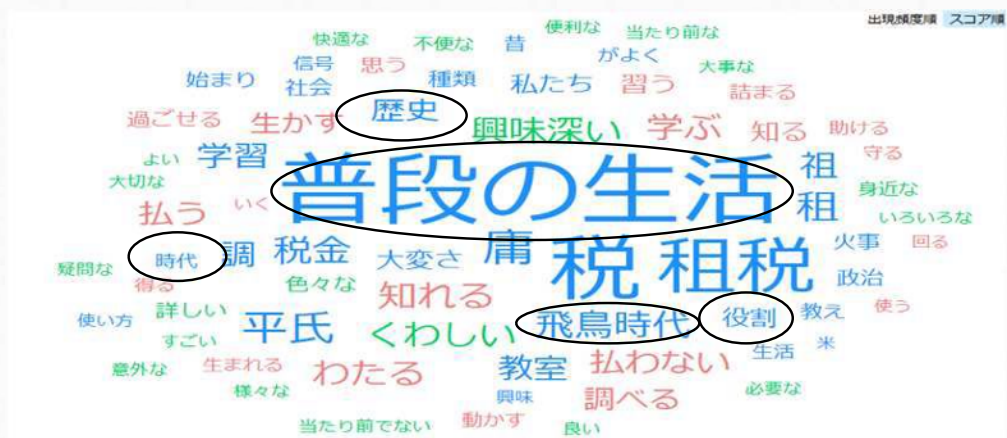
## 図書館の活用について



## 児童への中間アンケート結果から



## テキストマイニングの結果から



## 児童の中間感想



- 最初税はいらないものだと思っていたけど勉強をして生活するためには税は必要なものだと分かった。
- 税には色々な種類があり、とても昔の時代から税はあったのだと改めて実感しました。
- 今回の税について調べて学んだ事、租税教室での方々のお教えなどがこれからも興味を示せたらいいのかなと思います。
- 税について学んでみて昔の税金について詳しく知れたし、昔の税と今の税を比べて見たりしたら全然違ったりしてもっと詳しく調べたいと思いました。

## 今後の学習

時代ごとの暮らしや時代背景によって税の仕組みや納めるものが違う。



政治・経済の分野（現代）にも生かす。



国や社会の在り方について考える。

# 成果

## 成果

- 1 単元ではなく、教科として税を柱に貫いたことで、児童が長期的に税について意識することができてきた。(継続)
- 2 当初から、まとめる方法と調べる時代を選択するように声掛けしたことで、自分の興味がある時代の税について見通しを持って理解を深めることができています。(継続)
- 3 指導する側として「この単元で行わなければならない」や「〇月までに完成しなければならない」といった義務感がなくなり、長期的に税に興味を持たせることができた。

# 課題

- 社会科の学習を貫く柱として「税」を設定するため、教師側の意識がより重要になってくる。
- まとめる方法をいくつか設定したことで、時間的な差が生まれるのではないかと懸念している。その都度実態に合わせて変えていくことも必要になってくる。
- 理解が深まった児童もいたが、まだ、興味関心の高まりや理解度が低い児童もいるため、今後どのようにアプローチしていくかを考える必要がある。

# おわりに

---

4月



8月



8月以降



# 令和7年度 租税教育に関する 研究発表

岩沼市立岩沼中学校  
教諭 小室 那由他

## 1. 研究主題

「中学校社会科歴史的分野における  
租税教育の指導の工夫」

## 2. 主題設定の理由

### 生徒の興味関心に関するアンケート

Q. 社会科で学ぶ「税」について興味のある分野は？  
(対象第1学年134名/複数選択可/回答105名)

- 地理的分野：30.5% (32名)
- 歴史的分野：59.0% (62名)
- 公民的分野：53.0% (56名)

### 「税」に対する印象の傾向

- 肯定的意見  
「生活しやすくする」「公共サービスに必要」
- 否定的意見  
「高い」「政治家が無駄遣いしている」

### 課題

- 租税の意義理解◎ 主権者意識の不足
- 「自分ごと」として税をとらえる視点

## 学習指導要領上の租税教育の位置づけ

### •租税に関する事項

→公民分野（3年）「私たちと経済」

### •地理歴史は公民的分野の基礎

## 歴史的分野での指導の必要性

### •公民（3年次）

→受験期：表面的な暗記。深い考察が困難な傾向

### •歴史（1・2年次）

→租税に絡ませ、興味・関心を喚起。  
公民への円滑な接続

### 3. 研究の目標

「歴史的な見方・考え方をはたらかせながら租税の意義を考察する生徒の育成」

目標達成のための具体的な考察の視点

1. 推移：税は時代と共にどのように変化したか
2. 比較：古代と現代の租税の共通点・相違点

### 4. 研究方法

(1) 実態調査

(2) 歴史的分野の授業実践

(3) 生徒の変容の分析

## 5. 研究の概要

授業実践

単元名

第2章 「古代までの日本」

第3節 「古代国家の歩みと東アジア  
世界」

### 本単元における租税に関する視点の意義

- ・律令国家の成立→租税制度に支えられる
- ・考察の機会→租税を視点に古代国家の構造を考察
- ・現代への接続→古代と比較で現代の租税を考察

## 単元を貫く問い

「古代日本にとって、律令、租調庸、戸籍はどのような意味を持っていたのだろうか」

### 本時の指導

#### ・題材名

「古代の『税』と現代の『税』を比較しよう」

#### ・本時の目標

古代日本にとって律令にはどんな意義があったのか、租税を視点に為政者と庶民の立場から多面的に考察し、表現することが出来る。

【思考・判断・表現】

## 授業展開

	活動内容
①租税の役割	租税（租・調・庸）の仕組みを確認し、復習する。
②為政者の立場	国家にとって「税」はどのような意味を持っていたのかを考察する。
③庶民の立場	庶民にとって「税」の負担感はどのようなものだったのかを考察する。
④比較考察	古代の「税」と現代の「税」の共通点や相違点を比較考察する。

学習目標 古代の「税」と現代の「税」の共通点や違いは何か？
①復習しよう
Q 古代の税にどのようなものがありましたか？
租
調
庸
租の内容（何を納めるか・だれが納めるか等）
調
庸
②税の立場から考えよう
Q 古代日本は、どうして「律令」を整備して「税」を課せようとしたのだろう？
あなたの考え
友だちの考えがめ
ヒントワード 貢、自村は納い、租調庸、方役、具役、強い国
③復習しよう
Q 古代日本の庶民は「税」についてどのように感じていたのでしょうか？
あなたの考え
友だちの考えがめ
ヒントワード 戸籍、租調庸、方役、具役、
④古代の「税」と現代の「税」を比べよう
Q 古代の「税」と現代の「税」の共通点や違いは何か？
あなたの考え
友だちの考えがめ





## 課題②

### ②国の立場から考えよう

Q.古代日本は、どうして「律令」を整備して「税」を集めようとしたのだろう？

#### あなたの考え

租調庸の他に労役や兵役の義務が課され、道の整備や兵士を増やして強い国にしようとした。朝廷の力だけじゃ難しかったから税を国民から集めた。

### ②国の立場から考えよう

Q.古代日本は、どうして「律令」を整備して「税」を集めようとしたのだろう？

#### あなたの考え(根拠)

- ・租→飢饉に備えた 調、庸→貴族や役人の給料、朝廷の運営 (教科書48p)
- ・国を統一して強い国

### ②国の立場から考えよう

Q.古代日本は、どうして「律令」を整備して「税」を集めようとしたのだろう？

#### あなたの考え(根拠)

多賀城が置かれたり、広い道路ができたり施設が作ったりなど権力のある国をつくりたかったから

### 課題③

#### ③ 庶民の立場から考えよう

Q 古代日本の庶民は「税」についてどのように感じていたのでしょうか？

#### あなたの考え

戸籍を偽ってまで納める税の量を減らそうとしていたことから、税は庶民にとって大きな負担だった。また、兵役や労役は物ではなく時間を取られるから、特に大きな負担だったと思う。

#### ③ 庶民の立場から考えよう

Q 古代日本の庶民は「税」についてどのように感じていたのでしょうか？

#### あなたの考え(根拠)

男性の方がはるかに納める税が多かったり、貴族と庶民とで食や家の差が大きかったため庶民は税の負担が大きく税をなくしたかったらう

### 課題④

#### ④ 古代の「税」と現代の「税」を比べよう

Q 古代の「税」と現代の「税」の共通点・ちがいは何でしょうか？

#### あなたの考え(根拠)

現代の税は媒体が金で、生活する人々のために使われているが、古代の税は稲や布などを媒体にして納め、全ての人々に平等に使われるわけではなかった。個人的には、今の税の方がまだまし。今の税は僕たちの生活に役立っているが、古代の税は不平等すぎるから。

#### ④ 古代の「税」と現代の「税」を比べよう

Q 古代の「税」と現代の「税」の共通点・ちがいは何でしょうか？

#### あなたの考え(根拠)

古代の税は強い国を作るためのものだったけど、現代の税は、国民のためのもの。

#### ④ 古代の「税」と現代の「税」を比べよう

Q 古代の「税」と現代の「税」の共通点・ちがいは何でしょうか？

#### あなたの考え

共通点 ズルをする人がいる。

違う点 税が何に使われているかが市民に知られているかいないか

## 生徒の気付き

- ・庶民・為政者の比較  
→租税が公共事業に必要と認識
- ・古代・現代の比較  
→「だれのため」「使いみち」など民主主義において重要な視点の考察
- ・社会の形成につながる考察  
→現代は「国民の為に使われている」ことの再確認

## 6. まとめと今後の展望

### 成果

- ・歴史的分野における租税教育は、生徒の興味・関心を引き出し、多角的に「租税の意義を考察」する力の育成に有効である。

### 課題

- ・租税を視点にした考察を、他の地理・歴史的分野の単元にも展開し、生徒が租税の意義についてより深く多角的に考察できるよう、公民的分野にもつなげる。

## 令和7年度 租税教育に関する研究発表要項

亘理町立亘理小学校  
教諭 笠松 義幸

### 1 研究主題

税の意義や役割に対する興味・関心を高め、自分たちの生活との関わりを考えようとする児童の育成

～税について課題をもち、主体的に調べたり学んだりする活動を展開する学習～

### 2 主題設定の理由

児童は、社会科の「国の政治のしくみと選挙」「震災復興の願いを実現する政治」の学習で税金の働きについて学習した際には、さまざまな公共サービスにかかる費用や、被災地の復旧・復興に関わる予算などについて、税金が、わたしたちの生活や社会を支える大切なものということについて学んできた。

昨今、衆・参議院選挙に伴う、減税に関する各党の公約や、大阪万博に関連する税金の有効活用について等、児童にとっても税金に関わるニュースをテレビやSNSなどのメディアで目にすることが多い。しかし、児童にとって、前述の内容については、一過性のものであったり、常に日常生活に関わっていたりするものではないので、メディアや社会科で「税金」という言葉は何度も見聞きしているものの、正しい知識を身に付けている児童は少ない。

そこで、社会科で学んだことをもとに、税金について自ら課題をもち、主体的に調べる学習を展開することで、税金に対する興味・関心を高め、意義や役割を理解しながら、自分たちの身近な生活に関わりについて学びを深めることは、大変意義のあることであると考え、本主題を設定した。

### 3 研究目標

税の意義や役割に対する興味・関心を高め、自分たちの生活との関わりを考えようとする児童を育成する指導の在り方を探る。

### 4 研究の方法

- (1) 税金に対する事前調査を行う。
- (2) 租税教室を通し、税金について興味・関心を高めさせる。
- (3) 社会科の学習を展開する中で、税金に関する意義や役割等の視野を広げさせる。
- (4) 課題を設定し、資料やインターネット等を活用して調べる。
- (5) 学級で発表会を行い、お互いの知識を共有する。
- (6) 5学年児童や保護者への発表会を行う。
- (7) 事後調査を行い、変容を考察する。

## 5 研究の計画

令和7年度	4月	事前調査
	5月	租税教室 国の政治のしくみと選挙（社会科）
	6月	震災復興の願いを実現する政治（社会科）
	7月	税に関する絵はがきコンクール
	9月	実践授業
	10月	事後調査① 研究のまとめ
	11月	研究発表
	12月	5学年児童や保護者への発表会 事後調査②

## 6 研究の概要

(1) 事前調査（令和7年度 6年3組 男18名 女18名 計36名）

税に対する事前調査		
令和7年4月実施 (欠席1名)		
①税金は必要だと思いますか。		
	人数	記述内容
必要	23	町（公共施設や公共サービス）がなくなりたなくなる。(16) 学校に行けなくなるから。(6) 税金が国やみんなをささえているから。
どちらかといえば必要	12	町（公共施設や公共サービス）がなくなりたなくなる。(9) 税金がないとみんなが不便になる。(2) 国のためになるから。
必要ではない	0	
わからない	0	
②税金にはどんな種類がありますか。(複数回答)		
・消費税…32人		
・所得税…15人		
・ガソリン税…5人		
・自動車税…3人		
・住民税…2人		
・固定資産税、森林保護税、住居税…各1名		
③税金は何に使われますか。(複数回答)		
・公共施設や公共サービス…35人		
・公務員の給料…2人		

・年金… 1人

④税金について、詳しく調べてみたいことはどんなことですか。(複数回答)

- ・税金の種類… 5人
- ・消費税について… 4人
- ・税金の使われ方… 3人
- ・税金を納める人について… 1人
- ・思いつかない… 25人

⑤税金からイメージすることは何ですか。

- ・安全、安心に暮らすために必要、税があるから未来は明るいなど、公共施設を含め、無いと自分たちが困るという記述が見られた。その他、種類が多い、高い、国民、総理大臣、103万円の壁などの記述が見られた。

⑥税金を払う人はだれですか。(複数回答)

- ・国民と答えた児童が多く、大人、親、18歳以上・成人した大人などの記述が見られた。

⑦お家で税について話題にしたことがありますか。

	人数	記述内容
ある	9	消費税について。(5) 税金が高いことについて。(2) 103万の壁について。 テレビで税について放送していて、父が説明してくれた。
ない	26	

⑧その他(自由記述)

- ・消費税が8%のと10%のとがあるのはなぜ。(2)
- ・必要なものか見極めて税金を集めて欲しい。
- ・食品の値上げ。

- ・税金という言葉聞いたことがあっても、正しく認識している児童は少ないということが分かった。
- ・全体的に、無解答や「分からない」という解答が多く、「税金」そのものの認識がない児童が多いということが分かった。
- ・生活に密着している消費税についてはほとんどの児童が意識していた。
- ・消費税のイメージが強いためか、マイナスの考えをもつ児童が見られた一方で、「国のために使われている」等、国との関わりを意識している児童も見られた。
- ・家庭内で「税」について話題にしたことがある児童は、四分の一ほどであった。

以上のような児童の実態を踏まえ、まずは「税金とは何か」を知ることが第一であり、どのように使われ私たちの生活を支えているのかを理解させていきたい。また、家庭でも気軽に話題にできるような学習を展開していきたい。

(2) 指導計画 (10時間扱い 本時8/10)

月	教科	主な学習内容	時
4	学活	アンケートを実施し、児童の実態を把握する。	0.5
5	総合	租税教室を通し、税金について知り、興味・関心を高める。	1
	社会	選挙のしくみと税金の働きについて学び、公共サービスにかかる費用をまかなう税金の使い方について理解する。	1
6	社会	復旧・復興に向けた国の支援について学び、東日本大震災復興基本法や復興のための予算、被災地の支援について理解する。	1
7	図工	税に関する絵はがきコンクールに取り組み、参加することで、自分たちの身近な生活と税との関わりについて、さらに興味・関心を高める。	1
9	総合	税について、さらに詳しく調べたいと思ったことについて課題を設定する。 課題について資料やインターネットなどを活用したり、取材したりして調べる。	3
		発表会を行い、調べた内容を友達同士で共有し合う。 発表会で得た共有の学びを自分の課題やまとめを再考しながらさらに加筆修正を加える。	1 本時
10	学活	アンケートを実施し、児童の税についての変容をみる。	0.5
12	総合	5学年児童や保護者への発表会を行い、自分たちが調べ、まとめたことを伝えたり、広げたりする活動を味わわせる。	1

(3) 租税教室 (令和7年5月28日)

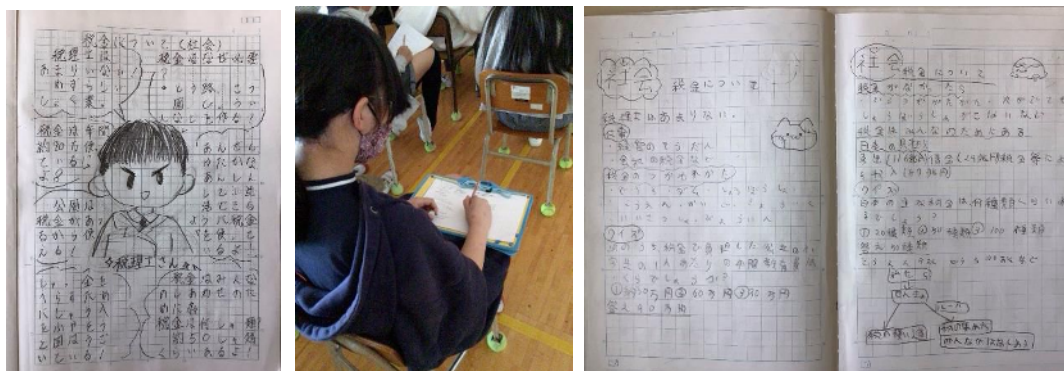
税金の意義や役割について、クイズなどを交えながら詳しく教えていただいた。税金の「使われ方」「税金がないとどうなるか」等について、非常に高い関心を持ち、ほとんどの児童が一生懸命メモをとっていた。その中で、公共サービスに関わる内容や、税金を公平に使うことの難しさに気付く児童も見られた。また、小学生一人あたりに使われる税金や日本の財政についてなど、具体的に記述した児童もいた。税金の種類や使い道について、さらに深く知りたいという児童の姿も見られたので、社会科の学習と関連させながら、税についての理解を深めさせ、多くの知識を得ることのできる活動の必要性も感じる事ができた租税教室であった。

租税教室後の感想には、以下のようなものが見られた。

- ・税の種類が50種類もあるということがびっくりしました。税金はみんなの幸せのために使われていることが分かったし、もっと税金について勉強したいです。



- ・税金はいろいろな種類があって驚いた。税金は、いろいろなことに役立てられているので大切だと思いました。
- ・国は高額の借金をしていることや、高齢者が増えて税金が多くかかっていることなどの課題も勉強できました。



#### (4) 実践授業 (令和7年9月26日)


##### ①目標


- ・税について調べたことについて発表会を行い、学んだことを共有する。
- ・税の主体者は自分たち国民であり、税金の大切さについて理解することができる。

##### ②指導上の留意点

- ・税金の意義や役割、自分たちとの生活との関わりを中心に、お互いの知識を共有しながら、5学年児童や保護者への発表会に向け、自分の資料を再考する重要な時間であることを意識させる。
- ・自分たちの生活を支えてくれる税金は、なくてはならないものであり、自分たちの生活に使われていることを再確認させる。

##### ③指導過程

段階	学習活動と予想される児童の反応	指導上の留意点	評価
導入	<p>1 本時のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">発表会を行い、学んだことを共有しよう。</div> 	<p>これまで学び、まとめた成果物を発表し、知識を共有しながら、5学年児童や保護者への発表会に向け、自分の資料を再考する重要な時間であることを意識させる。</p>	
展開	<p>2 発表会、意見交換会をする。</p>	<p>各グループの発</p>	<p>税につい</p>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・税金の種類について。 →税金の種類はとて多くてびっくりした。</li> <li>・税金の集め方について。 →自分たちの身近な税は「消費税」だと感じた。</li> <li>・税金の使われ方について。 →税金は国、人、他にもたくさんの物に役立っている。</li> <li>・税金の歴史について。 →税金は弥生時代からあったと知ってびっくりした。</li> <li>・世界の消費税について。 →外国と比べてみると日本の消費税は少ない。</li> <li>・世界の変った税金について。</li> </ul>	<p>表内容から、似ているカテゴリーごとに構造化し板書を行う。</p>	<p>て調べたことについて発表会を行い、学んだことを共有することができたか。</p>
<p>終末</p>	<p>3本時のまとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習の感想を発表し合う。 ○身の周りにある、たくさんの税金が使われた物などを大切にしていきたいと思った。 ○税金のおかげで、道路など生活に必要な物がつくられていて、ありがたいと思った。</li> <li>・次時の学習内容を確認する。</li> </ul> <div data-bbox="635 1108 933 1332" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;"><b>税金の使い道</b></p> <p>税金とは、年金、医療などの社会保障・福祉や、水道、道路などの社会資本整備、教育、警察、防衛といった公的サービスを提供するための費用を指すものです。</p> <p>警察署や消防署、市役所、公立病院、公園、ゴミ処理施設（しりしりすつ）、道路や橋の修繕など、毎日通っている学校でも、校舎や机、椅子（いす）、黒板、理科の実験道具、プール、教科書などです。こんなものにも税金が使われています。</p>  </div>	<p>5 学年児童や保護者への発表会に向け、自分たちの発表資料を再考することを告げる。</p>	<p>税の主体者は自分たち国民であり、税金の大切さについて理解することができたか。</p>

## 7 研究のまとめ

### (1) 成果

- ・社会科や総合的な学習の時間等、他教科と関連付けたことで、学習時間を確保できた。
- ・自分たちの生活の中での税金の使われ方について学んだことで、公共施設や公共サービスについてより深く考えることができ、「大切に使おう」という意識が高まった。
- ・税について自ら課題をもち、調べる活動を展開する学習により、興味・関心を高め、税がどのように使われ私たちの生活を支えているのかを理解させることができた。
- ・事後アンケートの結果から、税金に対する意識や見方が変容し、より納税の大切さに



ついて考え、理解も深まったことが感じられた。

(2) 課題

- ・調べ学習をする上で、インターネットが主となってしまったので、参考となる資料や図書等の活用を取り入れれば良かったと反省している。
- ・6年生の社会科や総合的な学習の中に今回の活動を位置付け学習時間を確保することができたが、低学年のうちから発達段階に合わせて継続していく必要がある。その実施例や体系化が十分ではないことが課題の1つである。

(3) 事後調査①についての考察

- ・ほとんどの児童の回答から、税金の必要性について意識が高くなってきた。
- ・税金の種類については、調べ活動の中で多くの種類があることに気付いた児童が多くなった。
- ・家庭内で「税」について話題にする機会も増えてきたようである。今後、保護者への発表会を予定しているが、事後調査②では、さらに増えることが予想される。

税に対する事後調査①

令和7年10月実施  
(欠席2名)

①税金は必要だと思いますか。

	人数	記述内容(複数回答)
必要	33	町(公共施設や公共サービス)がなくなりたなくなる。(28) 税金が国やみんなをささえているから。(9) 税金がないとみんなが不便になる。(5) 国や県のためになるから。(3)
どちらかといえば必要	1	町(公共施設や公共サービス)がなくなりたなくなる。(1)
必要ではない	0	
わからない	0	

②税金にはどんな種類がありますか。(複数回答)

- ・消費税…34人
- ・所得税…25人
- ・住民税…20人
- ・ガソリン税…17人
- ・自動車税…16人
- ・たばこ税…16名
- ・酒税…11名
- ・固定資産税…5人

- ・独身税… 5人
- ・森林保護税… 2人
- ・とん税… 1名

③お家で税について話題にしたことがありますか。

	人数	記述内容
ある	28	税金が高いことについて。(10) 103万の壁について。(10) 消費税について。(5) 税について家族(親)が説明してくれた。
ない	6	

#### (4) 今後の展望

- ・12月の授業参観で、今回学習して分かったことを保護者に向けて発表する予定である。そして、家庭でも更に話題にしてもらいたいと思っている。
- ・わたしたちの願いをかなえるために税金が使われているということについて、今後の学習活動の中でも触れる機会を意識しながら設定し、将来の納税者としての意識も育んでいこうと考えている。



# 令和7年度 租税教育に関する研究発表

山元町立山元中学校  
主幹教諭 晴佐久 晶

## 1 研究主題

納税者として税への関心を高め、主体的に社会に参画しようとする生徒の育成  
～租税に関する社会科の学習を通して～

## 2 主題設定の理由

社会生活において、税率の変更や減税・増税など税に関わる情報が日々報道されている昨今、税金は私たちにとって欠かせないものである。

小学校6年生の社会科で公民の学習をし、社会と人々の生活が関わっていることを学んでいる。中学校社会科の地理的分野では農業や水産業、工業などを人々の暮らしを学習し、歴史的分野では政治制度や文化、人々の暮らしの変化、そして租税の歴史を学習し、社会とのつながりについて深めていく。

最も身近な税「消費税」という言葉を子どもたちも耳にしている。生徒一人ひとりも納税者である。しかし消費税という言葉を知ってはいても、税金がどんな形で自分たちの生活と関わっているのかは、断片的には知識としてあるが、具体的にどのように集められ、どのように使われているかまで深く考えたことのある生徒はほとんどおらず、税金を払うことに抵抗を感じている生徒もいる。

租税について調べ、考え、話し合う活動を通して、人々の生活との関わりや税金の大切さについて実感し、納税者の一人として租税の意義や役割を身近に感じ、納税の意義を実感することができると考え、本主題を設定した。

## 3 研究の目標

「税」について、歴史やその役割、学校生活や社会生活との関連を調べ、まとめる等の学習活動を通して租税への関心を高め、租税の必要性や重要性を実感するための指導の在り方を探る。

## 4 研究方法

- (1) 事前調査を行い、生徒の税に対する考えを把握する。
- (2) 租税教室（仙台南税務署より講師来校）を実施し、税の種類・役割・公平性などについてグループワークで学習する。
- (3) 租税教育教材「私たちの暮らしと税」を用いて、税について具体的に考える時間を設け租税教室の内容を深める時間を設定し、まとめの活動として、『中学生「税についての作文」』を書く。
- (4) 公民的分野の授業において、税制度について、歴史や目的について理解を深める。

## 5 研究計画

令和7年	6月	事前調査、租税教室（仙台南税務署）
	7月～	実践授業、税の作文
	9月～10月	研究のまとめ

## 6 研究の概要

(1) 生徒の実態 : 事前調査

第3学年 1組・2組 69名 6月5日実施

【調査項目】

- ①税金は必要だと思いますか
- ②税金を払いたいと思いますか
- ③税金は何に使われていると思いますか
- ④税気について知っていることや疑問は何ですか
- ⑤税金についてもっと知りたいですか

以上の5つの項目で調査を実施した。結果は次の通りである。

## 調査結果

- ① 税金は必要だと思いますか  
はい66% わからない28% いいえ6%
- ② 税金を払いたと思いますか  
はい10% できるなら少なく払いたい65% 払いたくない20% わからない5%
- ③ 税金は何に使われていますか  
公共の場所 救急車 消防 警察 道路とかの工事 国や市町村の何か 教科書 公園  
年金 学校 公務員の給料 など
- ④ 税について知っていることや疑問は何ですか  
・減税は少ないけど、増税は多いのはなぜか。  
・なぜ税金は必要なのか  
・子どもや高齢者に関わる仕事に就いている人たちの給料が仕事量に対して少ないと思う  
・なぜこんなにたくさんの税金を払わないといけないのか  
・日本に住んでいるから義務として税金を払わなければならない  
・税金を払っているのに、国民に還元されていないように感じる  
・寝ている議員さんに税金を使って給料を払って本当にいいのか  
・税金がなかったら、社会が回らなくなり大変なことになる など
- ⑤ 税金についてもっと知りたいですか  
はい 75% いいえ 25%

## (2) 租税教室 令和7年6月13日 (仙台南税務署より3名来校)

### ①講話

- ・税の種類
- ・税金の使い道
- ・国民の義務 納税の義務 → 税金は国民が出し合う会費

### ②グループワーク

- ・税の公平性について考えてみよう  
「町に橋を建設する」場面の事例で考える

### ③1億円のレプリカを持ってみよう

### (生徒の様子)

グループワークでは、公平性が平等性かと積極的に意見を交わし、話し合いを進める様子が印象的であった。生徒はグループワークの結果をグループで出した意見をもとに整理された内容を発表した。発表の内容から、多くの意見や疑問を生徒たちがもったことがわかった。



(3) 租税教育教材「私たちの暮らしと税」の活用・『中学生「税についての作文」』

○中学校社会科用学習資料（令和7年度版）を活用し、税金の仕組みや財政の仕組みについて学習を深めた。なぜ税金は必要なのか、何に使われているのかを自由に話し合わせ、個人の考えを整理させた。

(生徒の意見)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・税金がなくなったら、大変なことになることがわかった</li> <li>・小中学生の義務教育も税金で成り立っていることを知ることができた</li> <li>・自分たちの生活にどれだけ役だっているものなのかわかった</li> <li>・税にはいろいろな種類があるので、少し覚えたい</li> <li>・警察や消防も税金で賄われていることがわかった</li> <li>・どんどん増税されるのは嫌だ。でも私たちの生活に生かされていると思うと必要なものだと思う</li> <li>・税金を納める意味がわかった</li> <li>・人が生きていてだけでたくさんの税が掛かることがわかった</li> <li>・税金がないと充実した暮らしができないなど感じた</li> <li>・安全に生活できているのは、税金のお陰であることを改めて知ることができた</li> <li>・税金を納めることは自分のためでもあることがわかった</li> <li>・税金があつて良かったと思えるようになった。将来自分もしっかり納税したい</li> <li>・税金が必要なのはわかったが、納めた税金が正しく使われているか疑問に思った</li> </ul>	など
---	----

○『中学生「税についての作文」』のコンクールを紹介し、64名の生徒からの応募があった。実体験に基づくものや租税についての学習で考えたこと、家で話題になったことなど様々な視点で書かれた作文が見られ、学習の成果を感じることができた。

(4) 公民的分野の授業における実践

① 単元名 財政と国民の福祉 4時間扱い

② 単元の目標

- ・税の使い道について、項目やカテゴリーなどに整理して、相互関係を整理してまとめる活動を通して、財政及び租税の意義と役割、国民の納税の義務について理解する。
- ・公正・持続可能性などに着目して、政府の役割や財政の在り方について考察・構想し、表現する。
- ・社会の一員（税の負担者）として、税の使い道など国・地方公共団体の経済活動（財政）に関心をもち、シミュレーションを通して、それぞれの立場に配慮し、公平な社会の在り方について、多面的・多角的に考えようとする。

③ 単元の評価規準

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	財政及び租税の意義、国民の納税の義務について理解している。	対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して、財政及び租税の役割について多面的・多角的に考察し、表現している。	国民の生活と政府の役割について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。

④ 単元の指導計画と評価 (5時間扱い)

学習内容	学習目標		評価規準
1 私たちの生活 と財政 (1時間) <b>本時</b>	知 技	私たちが納める税金の種類や仕組みについて理解する	私たちが日常生活の中で納めている税金について理解している
	思 判 表	公正の観点から税金の負担について考察する	憲法で国民に納税の義務がある理由について税金の役割に注目し考察し表現している
2 財政の役割と課題 (1時間)	知 技	身近な社会資本や公共サービスについて調べ政府が果たしている経済的な役割と課題を理解する	公共サービスはどこがどのように提供しているか本文から読み取る学習を通して理解している
	思 判 表	政府の財政政策と景気との関係について、公共投資や民間企業と関連付けながら考察し、表現する。	政府の財政政策と景気との関係について公共投資や民間企業と関連付けながら考察し、表現している。
	思 判 表	我が国の社会保障制度の仕組みについて理解する	私たちが日常生活の中で利用している社会保障制度について理解している。
3 社会保障の 仕組みと課題 (1時間)	知 技	我が国の社会保障制度の仕組みについて理解する。	私たちが日常生活の中で利用している社会保障制度について理解している。
	思 判 表	社会保障の基本的な考え方と日本の社会保障制度のあらましを理解したうえで、これからの社会保障制度について、持続可能性の観点から考察し、表現する。	社会保障の基本的な考え方と日本の社会保障制度のあらましを理解したうえで、これからの社会保障制度について、持続可能性の観点から考察し、表現している。
4 少子高齢化と財政 (2時間)	知 技	少子高齢化の財政への影響について理解する。	現役世代が納める保険料の負担が大きくなっている理由について理解している。
	思 判 表	少子高齢社会における社会保障制度の充実と経済成長の両立が難しい理由を、増税の影響に着目して考察し、表現する。	社会保障制度の充実と経済成長との両立が難しい理由を増税の影響に着目して考察している。
	知 技	社会資本の整備、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化、消費者の保護について、それらの意義を理解する。	社会資本の整備、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化、消費者の保護について、それらの意義を理解している。
	思 判 表	財政及び租税の意義、国民の納税の義務について理解する。	財政及び租税の意義、国民の納税の義務について理解している。
	思 判 表	対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目し、市場の働きに委ねることが難しい諸問題に関して、国や地方公共団体が果たす役割について多面的・多角的に考察し、表現する。	対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目し、市場の働きに委ねることが難しい諸問題に関して、国や地方公共団体が果たす役割について多面的多角的に考察し、表現している。
	態 度	国民の生活と政府の役割について、現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習をふり返りながら粘り強く取り組み、主体的に社会に関わろうとする。	国民の生活と政府の役割について、現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習をふり返りながら粘り強く取り組み、主体的に社会に関わろうとしている。

## ○本時の目標

- ・税の種類や基本的な仕組みと、主権者である私たちが税に関心を持つことの大切さを説明できる。
- ・税の納め方や公平な税の考え方に関心を持ち、自分の考えを表現できる。

## ○本時の展開（1／5時間）

	主な発問／学習活動・学習内容、生徒の反応（※）	指導上の留意点
導入	<p>1 【租税教室の復習から】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・税は、公共サービスの費用を賄うものであり、みんなが互いに支え合い、共にによりよい社会を作っていくための費用は、みんなが広く公平に分かち合うことが必要である。このため、税は「社会の会費のようなもの」である。</li> </ul> <p>2 本時の学習課題の把握</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">             税の種類や基本的な仕組みについて知り、税の集め方について考えよう。         </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「公平」、「社会の会費のようなもの」などのキーワードの認識の共有化を図る。</li> <li>・単元を貫く問い（<b>持続可能な税の在り方について、私たちは、どのように考えたらよいだろうか。</b>）のために、本時は税の種類や基本的な仕組みについて学習することを伝える。</li> <li>・身近な生活と税が密接に関わっていることを示す。</li> <li>・生徒も消費税を負担している税の負担者であることを示す。</li> </ul>
展開	<p>3 税の種類や基本的な仕組みについて知ろう。</p> <p>(1) 会社員の一日の生活の例から、どのような税が関わっているのか、どのような税の種類があるのかを知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <b>【家】</b> 住民税(住むこと)、固定資産税→ <b>【会社】</b> 法人税、所得税(給料)→ <b>【外出】</b> 自動車税、ガソリン税(揮発油税)、消費税(買い物)、相続税(葬儀場)→ <b>【帰宅】</b> 酒税、たばこ税等         </div> <p>(2) これらの税が、どこに納められているのかを知ろう。</p> <p>(3) これらの税が、どのように納められているのかを知ろう。</p> <p><b>【所得税】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 会社員の所得税は、会社が毎月給料から差し引き、年末に1年間の税額の過不足を精算する（年末調整）。</li> <li>→ 事業者などの所得税は、1年間の所得や税額を自分で計算し、確定申告の時期に申告・納税する。</li> </ul> <p><b>【消費税】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 生徒は、物を買う都度消費税を支払っているが、税務署への申告・納税は、お店が確定申告の時期などに行っている。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・所得税など国税は、自己の所得等を最も正確に把握している国民が、自ら税額を適正に計算し、申告と納付を行う申告納税制度（自発的に納税義務を履行する民主的な税制度）であることを理解する。</li> </ul> <p>4 「公平な税」の考え方について知ろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・税の公平とは、税を負担能力に応じて分かち合うという意味であり、公平には2つの大きな考え方があることを理解する。             <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 等しい負担能力のある人（経済力が同じ人）は等しい負担をするという考え方（消費税など）</li> <li>→ 負担能力の大きい人はより大きな負担をするという考え方                 <ul style="list-style-type: none"> <li>所得税や相続税などは、所得など課税対象額が多くなるほど税率が高くなる仕組み（累進税率）。</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国税と地方税があることを知らせる。</li> <li>・会社員の場合も、副業等の収入については確定申告が必要であることに気づかせ自分が不利益を被らないためにも、税についての知識を持ち、正しく納税することが必要であることを示す。</li> <li>・消費税のように負担者と納税者が異なる税は間接税、所得税のように負担者と納税者が一致する税は直接税に区分されることを理解する。</li> <li>・「公共サービスの費用は、広く公平に分かち合う必要がある」と学習したことを再確認する。</li> <li>・公共サービスの財源を賄えるよう、また、負担が公平になるよう多くの税の種類が組み合わせられていることを示す。</li> </ul>
まとめ	<p>5 本時のまとめとして、「税の種類や基本的な仕組み、税の集め方について考えたこと」を自分の言葉で表現する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の言葉でまとめるように伝える。</li> </ul>

## ○評価規準

### 【知識・理解】

税の種類や基本的な仕組みと、主権者である私たちが税に関心をもつことの大切さを理解している。

### 【思考・判断・表現】

税の納め方や公平な税の考え方に関心を持ち、自分の考えを表現している。

## 7 成果と課題

### (1) 成果

- ・租税教育の実践のための取り組みにならないようにカリキュラムを組んで取り組むことができ、結果、公民的分野の導入部分に租税教室を位置付けることができた。
- ・通常の社会科の授業にカリキュラムとして取り組み、毎年租税教育や主権者教育を実施できる指導計画に近づけることができた。
- ・様々な学習の場面で税金とのかかわりを考える生徒が増えた。また税金とのかかわりを考える場面が増えたことにより、税金が自分たちにとって大切なものであることに気づくようになった。
- ・税に関するマイナスのイメージを持っていた生徒も税の大切さや必要性を理解し、「しっかり納めなければならないこと」「18歳になったら選挙に行く」という意識も高まり、税に対する意識も改善されていく様子が見られた。

### (2) 課題

- ・租税教育に特化した取り組みの学習にならないように配慮した指導計画の作成の工夫をする。
- ・3学年の公民的分野の学習としての租税教育を位置づけるだけでなく、1、2年生の歴史的分野・地理的分野との関連も考慮し、学習指導要領に沿って指導計画を検討していく。
- ・小学校で学習したことを深められる内容にするために、小学校の学習指導要領と社会科の年間指導計画も活用する。

## 租税教育実践発表一覧

年 度	学 校 名	担 当 教 諭 名	テ ー マ 名
昭和62年度	名取市立増田小学校	伊 藤 清 子	国民の生活の安定と向上を図るために、国民の三大義務のひとつである納税の義務を深く認識させる
	岩沼市立岩沼南小学校	千 葉 宗 久	租税に対する関心を高めるための指導のあり方についての一考察
	亶理町立逢隈小学校	堀 川 達 也	基本的人権の尊重が民主政治の根本であり、納税の義務はこれらの権利の見返であることを理解させる
	山元町立坂元中学校	佐 藤 光 雄	租税の役割と納税の義務の意味についての理解を深めさせる
	秋保町立秋保小学校	榊 井 裕	国の事業活動を通して、税の必要性や仕組みを理解させる
昭和63年度	名取市立閑上小学校	小 暮 出	社会科教育の中で、租税の重要性を指導し、公共心・協調心に結び付け、これらを実践できる人間性を目標とした指導の工夫
	岩沼市立岩沼西中学校	鈴 木 啓 二 郎	金融と財政の働きの中で、租税と国民生活の関わりについての指導から税の意識の向上を図る
	亶理町立吉田小学校	今 野 喜 代 子	福祉関係等身近な事例を上げて税の重要性を指導し、最後に税の作文を通じて自覚をさせる
	山元町立山下中学校	菅 野 敏 郎	税に関するもの三点を上げさせ、これについて公民教育で考察することによる租税教育の実践
平成元年度	名取市立増田中学校	小 野 政 稔	租税の働きやしくみを理解させ、納税の義務を自覚させる
	岩沼市立岩沼西小学校	菊 地 真 勇 美	私たちの生活と政治の中から、租税について理解させる
	亶理町立吉田中学校	菊 地 嘉 昭	税に関する作品の応募から、財政と国民生活について指導
	山元町立坂元小学校	佐 藤 広 実	租税の簡単なしくみから、租税への関心を高めさせる指導
平成2年度	名取市立増田西小学校	鎌 田 彰 郎	産業廃棄物処理に関する学習の中で、税金の働きについてふれ、税の重要性を認識させる
	岩沼市立岩沼中学校	樋 口 英 明	財政を支える財源である租税の異議や役割を、経済の実態と動向にからませながら、税の重要性を理解させる
	亶理町立高屋小学校	太 田 久 仁 男	税金によって作られた公共物や学校施設を大切にする態度を育てる指導の工夫
	山元町立山下中学校	江 戸 寿	税金を正しく理解させるため、視覚教材を利用しながら見せる教育の実践
平成3年度	名取市立名取第二中学校	清 野 ひ さ 子	国民生活の中で、租税の働きを正しく理解させるための指導
	岩沼市立岩沼小学校	山 田 健 一	一人ひとりを大切にする政治の指導の中で、権利と税との関わりを考えさせる指導の実践
	亶理町立亶理中学校	本 間 和 哉	税に対し、生徒が主体的な活動により、興味・関心を持たせる指導の工夫
	山元町立山下第二小学校	佐々木 恭 也 小 関 尚 子	一人ひとりが健康で幸せな生活を送るために、税金は、どのように使われているかを理解させる

## 租税教育実践発表一覧

年 度	学 校 名	担 当 教 諭 名	テ ー マ 名
平成4年度	名取市立不二が丘小学校	丸 子 智 子	快適で豊かな生活を送るために税金はどのように集められ、また、どう使われるのか、自ら調べさせ理解させる指導
	岩沼市立岩沼北中学校	鈴 木 尚	租税の働きや仕組みを把握させ、正しい租税制度の在り方を理解させる指導
	亶理町立亶理小学校	木 村 和 正	税金が一人ひとりの生活に役立っていることを理解させる指導の工夫
	山元町立山下小学校	岩 佐 美保子 佐 藤 真 一	将来の自分や国を考えるために、税についての知識を深め、税の社会的意義を考えるとともに、興味・関心を持たせるような指導の工夫
平成5年度	名取市立第二中学校	丹 野 光 洋	国民生活に大きな影響力をもつ、財政を支えている租税の意義を理解させ、また、税金は共同社会を維持するための会費であることに気付かせる指導の工夫
	岩沼市立玉浦小学校	渡 邊 清 孝	問題意識を持ち、自ら調べ解決する学習活動を通して、児童の税に対する興味・関心を高めさせる指導
	亶理町立吉田中学校	永 浦 晴 久	金融と財政の働きを租税教育の中心場面ととらえ、消費者としての私たちと関連させ、税をより身近なものとする指導の工夫
	山元町立中浜小学校	近 藤 英 人	児童一人ひとりに生活の中で、自分が税に対しどう関わっていけばよいかと考えさせる指導の工夫
平成6年度	名取市立館腰小学校	高 橋 壽 子	問題意識をもって、自ら調べ解決する学習により、児童の税に対する関心を高めさせる税の意義と役割を理解させる指導の工夫
	岩沼市立岩沼西中学校	横 山 純	財政収入は租税を中心に成り立っていることを理解させ、納税の義務を負う国民のあり方について考えさせる指導
	亶理町立長瀬小学校	大 沼 仁	税金の必要性とその使われ方を理解させる指導を通して、税に対する興味・関心を高めさせる指導の工夫
	山元町立山下第一小学校	大 沼 毅	児童自ら税に対する課題意識を持たせ、調査し解決していく活動から、税の意義を理解させ、公共社会での責任と義務を培わせる指導の工夫
平成7年度	名取市立愛島小学校	石 川 峰 生	子供の租税に対する関心を高めさせる指導の工夫
	岩沼市立岩沼小学校	大 沼 毅	税制度の理解を通して、公共社会での助け合いに対して、興味・関心を高めさせる指導の工夫
	亶理町立荒浜中学校	田 原 満	租税の意義と目的を理解させる指導を通して、税への関心を高める指導の一考察
	山元町立坂元小学校	菅 原 裕 子	税金の仕組みとその使われ方を理解させる指導を通して、税に対する関心・理解を高めさせる指導の工夫
平成8年度	名取市立館腰小学校	芳 賀 佳 恵	課題意識を持ち自ら調べ解決する学習活動を通して、児童の税に対する関心を高めるための指導の在り方
	岩沼市立岩沼南小学校	菊 地 真勇美	税金は人々のくらしとどのように結びついているのかについて、身近な事例から気づかせ、納税の大切さを理解させる指導の工夫
	亶理町立荒浜小学校	佐々木 洋 美	計画・調査・発表を取り入れた学習活動を通して、児童の税に対する理解を深める指導の一考察
	山元町立坂元中学校	成 毛 毅	消費税と財政政策との関係をとらえて、税への関心を高める社会科公民的分野指導の一考察

## 租税教育実践発表一覧

年 度	学 校 名	担 当 教 諭 名	テ ー マ 名
平成9年度	名取市立増田小学校	高 橋 千 佳	税に対する意識・関心を高めるための指導～6年「みんなの願いを実現する政治」の指導を通して～
	岩沼市立玉浦中学校	長 澤 裕 司	税への関心を高め、税を見る目を養う指導の一考察～税の公平性を考える討論活動を通して～
	亶理町立逢隈中学校	菊 地 幸 子	社会科学習における租税教育の在り方と指導方法の工夫
	山元町立山下中学校	佐 藤 泉	税に対する理解を深める指導の一考察～財政の学習を通して～
平成10年度	名取市立不二が丘小学校	杉 田 由 英	児童の税に対する関心を高めるための指導～6年「みんなの願いを実現する政治」の指導を通して～
	岩沼市立岩沼西中学校	及 川 浩 芳	社会科における租税への認識を高める指導の工夫～各分野において、身近な資料を活用し、税の必要性を理解させる指導を通して～
	亶理町立逢隈小学校	鈴 木 健	自分なりの課題を持ち、自分なりの方法で調査や課題解決を行い、自分なりの方法で表現していく子供の育成～租税に関する学習を通して～
	山元町立山下第二小学校	佐 藤 真 一	小学5年生の税に対する興味・関心を高めさせる指導計画の工夫
平成11年度	名取市立下増田小学校	高 橋 宏 明	児童の税に対する関心を高めるための指導の工夫～課題意識を持って自ら調べ表現する活動を通して～
	岩沼市立岩沼西小学校	水 沼 久美子	児童の税に対する関心を高めるための指導と学習計画の工夫
	亶理町立亶理中学校	星 和 敏	租税への関心を高めるための指導の工夫
	山元町立山下小学校	阿 部 広 力	小学校4年生の社会科学習における租税教育の効果的取り扱いについて
平成12年度	名取市立関上小学校	赤 沼 隆 史	児童の税に対する関心を高めさせる指導の工夫～自ら課題意識をもって調べる活動を通して～
	岩沼市立岩沼中学校	内 海 郁 子	児童の税に対する興味・関心を高めるための指導法の工夫～学び方を学ぶ学習を通して～
	亶理町立吉田小学校	渡 辺 隆	問題意識を持ち自ら学ぶ児童をめざして～6年社会科の税金学習を通じた実践と考察～
	山元町立中浜小学校	阿 部 優 子	税に関することがらを主体的に学習させるための工夫
平成13年度	名取市立高館小学校	佐 藤 真理子	児童が税に対する興味・関心を持つための指導の工夫～住みよい「〇〇王国」作りの活動を通して～
	岩沼市立岩沼小学校	高 橋 悟	児童の税に対する興味・関心を高め、主体的に学習できるための指導の工夫
	亶理町立高屋小学校	大 槻 裕 史	児童の税に対する関心を高めるための指導の工夫～課題意識を持って自ら解決する活動を通して～
	山元町立山下第一小学校	佐 藤 尚 利	学校のプールが新しくなったよ！～税金博士を目指して～

## 租税教育実践発表一覧

年 度	学 校 名	担 当 教 諭 名	テ ー マ 名
平成14年度	名取市立増田西小学校	鈴木 和 彦	児童の税に対する関心を高めるための指導の工夫～租税に関するニュース番組作りの活動を通して～
	岩沼市立玉浦中学校	大 堀 真 澄	税の関心を高め、理解を深める指導の一考察～租税に関する討論活動を通して～
	亶理町立亶理小学校	大 森 実	社会科との関連をはかった租税教育の試み～税に関する興味・関心を育む単元の工夫を通して～
	山元町立坂元小学校	高 倉 成 行	児童が税に対する興味・関心を持つための指導の工夫～総合的な学習の時間「税金ってなんだ」の活動を通して～
平成15年度	名取市立ゆりが丘小学校	松 浦 和 浩	学年ごとの児童の実態に応じた効果的な租税教室のあり方
	岩沼市立玉浦小学校	柴 田 新 二	税に関する興味・関心を高め、主体的に学習に取り組む指導の工夫～税についての調べ学習、未来の玉浦を考える活動、道徳を通して～
	亶理町立吉田中学校	小 鴨 幸 生	租税に関する興味・関心を高める指導法の工夫
	山元町立山下第二小学校	佐 藤 孝 志	税の学習を取り入れた総合的な学習の時間の指導の一考察～「未来の山元町を考えよう」の活動を通して～
平成16年度	名取市立増田中学校	渡 邊 義 行	公民の学習における租税への関心を高める指導の工夫
	岩沼市立岩沼北中学校	瀬成田 実	税への関心を高め、思考を深める指導法の工夫～適切な資料展示や討論活動をとおして～
	亶理町立長瀬小学校	西 澤 勝 雄	社会科学習及び総合的な学習における租税教育の効果的な指導の一考察～4年社会科「住みよいくらしをささえる」、5年総合的な学習「わたしたちの亶理町を考えよう」の活動を通して～
	山元町立山下小学校	平 間 正 信	自分らしさを発信する子ども～学んだことを発信する学習を通して（小学5年生の実践）～
平成17年度	名取市立関上中学校	大 宮 潤	租税への関心を高める指導法の工夫～3年間を見通した租税教育～
	岩沼市立岩沼西小学校	建 入 文 夫	租税について考え、正しく理解させるための指導法の工夫～租税に関する社会科の学習を通して～
	亶理町立荒浜中学校	佐 藤 秀 樹	公民としての資質を育てる租税学習の工夫～地域住民へのアンケート活動を通して～
	山元町立山下第一小学校	稲 垣 祐 子	税を通して山元町の良さを知り、発信する子どもの育成～総合的な学習の時間の活動を通して～
平成18年度	名取市立館腰小学校	相 原 直 人	税に関心をもち税金の大切さを考えることのできる児童の育成～ぼくらの税金ホームページ作りを通して～
	岩沼市立岩沼西中学校	森 本 直 樹 菅 原 正 弘	公民としての資質の基礎を養う租税学習の工夫～3学年公民での継続した学習を通して～
	亶理町立荒浜小学校	塚 口 誠	進んで学習に取り組む児童の育成～租税に関する学習を通して～
	山元町立山下中学校	仙 石 直 樹	租税について正しく理解し、主体的に考えることができる生徒の育成～3年公民分野における「タックスレポート」づくりを取り入れた学習活動の工夫を通して～

## 租税教育実践発表一覧

※ 平成23、24年度は震災により中止

年 度	学 校 名	担 当 教 諭 名	テ ー マ 名
平成19年度	名取市立那智が丘小学校	大 友 幹 雄	税に関心をもち、税の社会的意義を考えることのできる児童の育成～税に関する新聞作りの活動を通して～
	岩沼市立岩沼南小学校	横 山 勉	児童が興味・関心をもつための指導の工夫～小学校4年生からの「税に関する学習」を通して～
	亶理町立逢隈中学校	長 田 康 宏	税に対する興味・関心を高める指導法の工夫～身近な地域素材の活用を通して～
	山元町立中浜小学校	日 下 泰 憲 西 澤 彰 子	児童の税に対する興味・関心を高めるための指導の工夫～総合的な学習の時間「中浜の松ぼっくりから」の実践を通して～
平成20年度	名取市立第一中学校	小 鴨 幸 生	租税への関心を高める指導法の工夫～身近な資料や租税に関する討論活動を通して～
	岩沼市立岩沼中学校	長 澤 裕 司	租税への関心を高め、納税者としての自覚を培う指導の一考察～財政上の課題を考えさせる場面の工夫をとおして～
	亶理町立逢隈小学校	高 倉 成 行	税金の役割を理解させるための指導の工夫～小学校6学年社会科「わたしたちの願いを実現する政治」の学習を通して～
	山元町立坂元中学校	堀 内 恵 理 子	税に関心をもち、主体的に社会とかかわろうとする姿勢の育成～3年公民的分野における租税学習を通して～
平成21年度	名取市立第二中学校	丹 野 光 洋	納税者としての意識を高めるための指導法～租税教室や様々な資料で学んだことを基にした消費税に関するディベートを通して～
	岩沼市立岩沼小学校	佐久間 秀 和	租税への関心を高める指導の一試み～小学校6学年社会科「日本の歴史」での税の学習と「租税教室」の実践を通して～
	亶理町立亶理中学校	浦 邊 盛 勝	税に対する興味・関心を高め、発展させる指導法の工夫～生徒自身の身近な素材の活用を通して～
	山元町立坂元小学校	清 野 政 子	児童が税に対する興味・関心をもつための指導の工夫～総合的な学習の時間「税金ってなに」の活動を通して～
平成22年度	名取市立相互台小学校	大 沼 史 柄	租税への関心を高めるための指導の工夫～公共施設から税金を考える～
	岩沼市立玉浦中学校	山 田 洋 子	税の必要性についての意識を高めるための指導法の工夫～小学校6学年社会科「わたしたちの願いを実現する政治」の学習を通して～
	亶理町立吉田小学校	渡 辺 英 明	身近なことから税金の意義や役割を理解させる指導法の工夫～小学校6学年社会科「わたしたちの願いを実現する政治」の学習を通して～
	山元町立山下第二小学校	針 生 武 宏	身近な生活での税に関心をもち、税の大切さを考えることのできる児童の育成～総合的な学習の時間「山元町の未来を考える」の学習を通して～
平成25年度	名取市立増田小学校	佐 藤 真 一	税に対する興味・関心を高めさせる指導の工夫～自ら調べ、主体的に税を考える学習を通して～
	岩沼市立岩沼西小学校	管 野 千 里	税金の役割と必要性を理解できる児童を育成するための指導の工夫～小学校6学年社会科「わたしたちの願いを実現する政治」の学習を通して～
	亶理町立高屋小学校	小 松 晃	税金の大切さを考えることのできる児童の育成～総合的な学習の時間「人権福祉」学習-だれもが幸せに生きる町づくりを通して～
	山元町立山下中学校	太 田 侑 吾	租税への興味・関心を深化させる指導の工夫～山元町の復興に関する取り組みを通して～

## 租税教育実践発表一覧

年 度	学 校 名	担 当 教 諭 名	テ ー マ 名
平成26年度	名取市立不二が丘小学校	清 野 秀 和	租税への関心を高めるための指導の工夫～第6学年 総合的な学習の時間「税金について考えよう」の学習を通して～
	岩沼市立岩沼西中学校	阿 部 幸 子	租税への関心を高め意義や役割を理解させる指導法の工夫～租税教室や身近な資料の活用を通して～
	亶理町立亶理小学校	酒 井 久美子	町民の願いを実現するために税金が果たす役割を理解させる指導の工夫～「総合的な学習の時間」と6学年社会科「わたしたちの願いを実現する政治」の学習との関わりを通して～
	山元町立坂元中学校	渡 邊 淳 一	将来の納税者としての意識を育む税金学習
平成27年度	名取市立関上中学校	荒 川 美 貴	積極的納税者を育むための指導の工夫～税の使い道についての学習や租税教室の活用を通して～
	岩沼市立岩沼南小学校	丸 谷 由 浩	未来の望ましい納税者を育てる指導の実践～税金に対する正しい知識を身に付け、正しく納めようとする態度を養う指導を通して～
	亶理町立吉田中学校	妹 尾 文 男	納税者意識を高める指導の工夫～生徒の疑問を大切にした授業づくりと税について考える機会を増やす実践から～
	山元町立坂元小学校	佐 竹 聡 子	税金の役割を理解し、税金の必要性を感じられる児童の育成～「坂元の復興と税金とのかかわり」を考える学習を通して～
平成28年度	名取市立下増田小学校	手 塚 英 海	税に対する知識を深め、健全な納税者を育てる指導の実践～主体的に課題を設定し、探求する学習を通して～
	岩沼市立岩沼中学校	武 田 裕 光	地方自治の学習を通して租税の意義と役割を理解させる指導の工夫
	亶理町立長瀬小学校	武 田 清 美	税に対する興味・関心を高め、税の意義や役割を理解しようとする児童の育成～税について児童自ら課題をもち、調べる活動を展開する学習から～
	山元町立山下第二小学校	渡 部 史 郎	未来の納税者を育てる指導の一試み～児童の「税」への興味・関心を生かした調べ学習を通して～
平成29年度	名取市立関上小学校	菅 原 さとみ	第6学年社会科学習として行う租税教育のあり方一考察
	岩沼市立岩沼小学校	三 澤 恵	税の意義や役割を理解し、政治参加に対する意欲を高める指導の工夫～税金の使い道について考えさせる活動を通して～
	亶理町立荒浜中学校	小 鴨 幸 生	租税への関心を高めるための指導法の工夫～学び合いを取り入れた指導を通して～
	山元町立山下小学校	森 大 地	税に対する興味・関心を高め、税への理解を深める指導の工夫～主体的に課題を設定し、自ら調べる活動を通して～
平成30年度	名取市立第一中学校	榊 田 修	租税教室や資料を用いた指導の工夫
	岩沼市立玉浦中学校	川 又 大 輝	歴史的分野における租税教育の可能性～近代革命期と現在の税制度の比較を通して～
	亶理町立荒浜小学校	高 橋 洋 彰	税への興味・関心を高め、正しい知識と納税意識をもった子どもの育成～児童自らが課題をもち、調べる活動を通して～
	山元町立山下第一小学校	名 取 富 江	児童が税に対する興味・関心をもつための指導の工夫～総合的な学習の時間「税金ってなんだ」の学習を通して～

## 租税教育実践発表一覧

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症の拡大により中止

年 度	学 校 名	担 当 教 諭 名	テ ー マ 名
令和元年度	名取市立高館小学校	大 槻 裕 史	税に対する興味・関心を高め、税の意義や役割への理解を深める指導の工夫～社会科の学習として行う租税教育の実践を通して～
	岩沼市立玉浦小学校	村 田 志 乃	児童が税を身近に感じ、税に関する興味・関心を持つための工夫～課題設定の工夫と学び合いの学習を通して～
	亶理町立逢隈中学校	都 澤 智 洋	税を通して、支えられている社会を実感させるための授業実践の工夫～震災前、震災直後、現在の亶理町の収入を比較させることを通して～ ～亶理町立逢隈中学校の校内研究実践を通して～
	山元町立山下中学校	風 間 啓 太	租税を正しく理解し、主体的に考えることができる生徒の育成～租税教室体験を通して～
令和3年度	名取市立増田西小学校	齋 藤 幸 恵	将来積極的に社会に参画していく納税者を育む指導の工夫～段階的に継続して育むカリキュラムを通して～
	岩沼市立岩沼北中学校	古 川 明 子	租税の意義や役割を正しく理解し、納税者として社会や国の在り方などを主体的に考えることができる生徒の育成～身近な地域の調べ学習を通して～
	亶理町立逢隈小学校	鈴 木 康 史	児童が税に関する興味・関心を高めるための指導の工夫～児童自らが課題を設定し、調べる活動を通して～
	山元町立坂元小学校	鈴 木 晋 也	租税についての関心を高め、税金の必要性を実感する児童の育成～税に関する身近な問いについて調べ、解決する学習を通して～
令和4年度	名取市立ゆりが丘小学校	小 林 敏 之	税を身近なものとして捉え、知識を深めるための指導の工夫～ICT機器の効果的な活用を通して～
	岩沼市立岩沼西小学校	先 崎 晴 香	児童が納税や政治に興味・関心をもち、考えを深める指導の工夫～身近な地域(岩沼市)を題材とした学習活動の工夫～
	亶理町立亶理中学校	児 玉 彩 夏	租税の意義や現状を正しく理解し、納税者として税制の在り方や関わり方を主体的に考えることができる生徒の育成～国税庁や財務省の資料を活用し、自ら考える学習を通して～
	山元町立山下第二小学校	高 橋 丈 喜	税に関する関心を高め、「まちづくり」にいかそうとする児童の育成～「未来の山元町」について調べ、意見交流する学習を通して～
令和5年度	名取市立館腰小学校	川 村 理 恵	租税への関心を高め、意義や役割への理解を深める指導の工夫～第6学年 総合的な学習の時間「税金について考えよう」の学習を通して～
	岩沼市立岩沼西中学校	高 橋 尚 子	既習事項を活かし、税の学習に主体的に取り組む生徒の育成～古代と現代の税制度の比較を通して～
	亶理町立吉田小学校	川 田 真	税への興味・関心を高め、税金の必要性や重要性を実感するための指導の工夫～自分でテーマを設定し、調べ、伝え合う活動を通して～
	山元町立山下小学校	佐 藤 圭 祐	租税についての関心を高め、税金を身近に感じる児童の育成～学校生活と税との関連を調べ、解決する学習を通して～
令和6年度	名取市立愛島小学校	三 品 綾 子	租税についての関心を高め、税金の必要性を理解することのできる児童の育成～税に関する単元の、身近な事例と関連させた学習を通して～
	岩沼市立岩沼南小学校	石 井 歩	児童が税について主体的に学ぶ学習を目指して～第6学年「わたしたちの生活と政治」の学習を通して～
	亶理町立高屋小学校	石 川 光 華	児童が租税の意義や役割を理解するための指導の工夫～地域資源について調べる活動を通して～
	山元町立山下第一小学校	森 山 壱 成	税金への関心を高めるための中学年への指導の工夫～第4学年 総合的な学習の時間「税金について考えよう」の学習を通して～

## 租税教育実践発表一覧

年 度	学 校 名	担 当 教 諭 名	テ ー マ 名
令和7年度	名取市立那智が丘小学校	松 崎 孝太郎	税の歴史を柱として国や社会の在り方について考える
	岩沼市立岩沼中学校	小 室 那由他	中学校社会科歴史的分野における租税教育の指導の工夫
	亘理町立亘理小学校	笠 松 義 幸	税の意義や役割に対する興味・関心を高め、自分たちの生活との関わりを考えようとする児童の育成～税について課題をもち、主体的に調べたり学んだりする活動を展開する学習～
	山元町立山元中学校	晴佐久 晶	納税者として税への関心を高め、主体的に社会に参画しようとする生徒の育成～租税に関する社会科の学習を通して～

令和7年度 仙台南地区租税教育推進協議会 役員名簿

役 職	構 成 機 関	名 等	氏 名
会 長	岩 沼 市 教 育 委 員 会	教 育 長	及 川 浩 市
副 会 長	公益社団法人仙台南法人会	会 長	大 友 浩 幸
	仙 台 南 税 務 署	副 署 長	大久保 英 樹
常任幹事	仙 台 南 税 務 署	総 務 課 長	小野寺 千寿華
幹 事	宮城県仙台教育事務所	所 長	岡 本 由 紀
	岩 沼 市 教 育 委 員 会	教 育 総 務 課 長	一 丸 孝 博
	名 取 市 教 育 委 員 会	教 育 総 務 課 長	高 橋 大 介
	名 取 市 校 長 会	会 長 ( 増 田 中 学 校 長 )	菊 池 晃 子
	岩 沼 市 校 長 会	会 長 ( 岩 沼 中 学 校 長 )	池 田 尚 人
	亘 理 町 校 長 会	会 長 ( 亘 理 小 学 校 長 )	星 信 浩
	山 元 町 校 長 会	会 長 ( 山 下 第 二 小 学 校 長 )	武 田 義 弘
	仙 台 南 税 務 署 管 内 会 青 色 申 告 会 連 合 会	会 長	猪 股 弘 志
	仙 台 南 間 税 会	会 長	遠 藤 利 昭
	宮城県仙台南県税事務所	所 長	山 田 剛 史
	岩 沼 市	市 民 ・ 税 務 課 長	森 正 徳
会 計 監 事	東北税理士会仙台南支部	支 部 長	山 田 一 文
	仙 台 南 小 売 酒 販 組 合	理 事 長	藤 原 仁 昭

顧 問	名 取 市	市 長	山 田 司 郎
	岩 沼 市	市 長	佐 藤 淳 一
	亘 理 町	町 長	山 田 周 伸
	山 元 町	町 長	橋 元 伸 一
	仙 台 南 税 務 署	署 長	西 崎 由 美 子



令和8年3月発行

## 発行者 仙台南地区租税教育推進協議会

事務局：仙台市太白区柳生2丁目28番2号（仙台南税務署内）

代表（022）306－8001

※音声案内「2」番を選択してください。

※本冊子は、国税庁ホームページでもご覧いただけます。

掲載ページはこちらです。

([https://www.nta.go.jp/about/organization/sendai/education/jirei\\_sendaiminami.htm](https://www.nta.go.jp/about/organization/sendai/education/jirei_sendaiminami.htm))

